



平成31年3月7日
那賀川河川事務所

新技術の航空レーザ測量を用いて那賀川の川底まで丸裸に！

～ 那賀川 ALB(航空レーザ測深)測量図を作成しました！ ～

那賀川河川事務所では、河道等の地形を把握するため、200m 間隔で実施している横断測量断面での管理が主な手法となっております。今回は、より詳細に地形全体を把握できる、新技術の航空レーザ(ALB^{※1})による測量を平成29年12月に実施しました。この度、ALBの測量結果をもとに、那賀川の川底まで丸裸にした『那賀川 ALB(航空レーザ測深)測量図』を作成しましたのでお知らせします。

ALBとは、陸上の地形計測において、既に広く利用されている航空レーザ計測装置と同様のシステムを利用しますが、発射するレーザの波長が従来とは異なります。陸上計測で使用する近赤外線レーザは、水に吸収又は水面で反射されるため、川底の形状を計測できませんでした。一方、ALBで使用する緑色レーザは、水中を透過しやすい特性があり、2つのレーザを発射することで川底と陸地の地形を捉えることが可能となります。

那賀川 ALB(航空レーザ測深)測量図には、直轄管理区間の航空写真と標高段彩図^{※2}を掲載しており、深掘れや堆積箇所、水中にある根固ブロックの状況など、普通は見ることができない川底の様子が詳細に分かる資料となっております。

なお、ALBに関する内容は、那賀川河川事務所のウェブサイト(以下のURL)に掲載しておりますので、是非、ご覧になって下さい。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/disaster-prev/alb.html>

※1「ALB」とは、Airborne Laser Bathymetryの略

※2「標高段彩図」とは、標高の高低差によって色分けと陰影を付け、地形の起伏を分かりやすく表現した地図のことです。

本施策は、四国圏広域地方計画の広報プロジェクト「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組みに該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局
那賀川河川事務所

副 所 長
◎調査課長

やすなが かずお
安永 一夫
あおき ともや
青木 朋也

電話：0884-22-6461（代表）

（内線 204）

（内線 351）

◎ 主たる問合せ先

